

2015年(平成27年)8月5日 No.670

第2四半期決算概要

経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、経済政策や金融対策の効果により、企業業績の改善が進むなど徐々に回復基調にありました。海外では、米国経済は拡大基調で推移しましたが、その一方で中国の成長が鈍化、インドネシアにおいてはインフレ抑制策により景気減速傾向にあるなど、依然として楽観視できない状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、「日米中亜4極体制 新たなステージへ For the Next Stage」をテーマに、中期経営計画の各種施策に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は25,299百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は1,209百万円(同9.2%増)、経常利益は1,424百万円(同19.0%増)、四半期純利益は892百万円(同26.0%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[産業機械部門] 売上高は21,104百万円(前年同期比8.4%増) 営業利益は1,445百万円(同9.1%増)

[建設機械部門] 売上高は4,165百万円(前年同期比12.9%増) 営業利益は186百万円(同13.8%減)

[その他] 売上高は30百万円(前年同期比24.1%増) 営業利益は17百万円(同44.4%増)

平成27年11月期第2四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年5月31日)

連結経営成績(累計)

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
27年11月期第2四半期	25,299 百万円	9.2%	1,209 百万円	9.2%	1,424 百万円	19.0%
26年11月期第2四半期	23,173 百万円	△ 0.6%	1,107 百万円	3.3%	1,197 百万円	△ 9.5%

	四半期純利益		1株当たり四半期純利益	
27年11月期第2四半期	892 百万円	26.0%	100 円	20 銭
26年11月期第2四半期	708 百万円	△ 3.0%	78 円	14 銭

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率

今月のことば

乾 相談役

○ 知恵を出せ、汗をかけ

当社の営業は、ほとんどがメーカーの商品(ハード)を販売することで成り立っている。「最善の奉仕」と「顧客の満足」が我々の基本的使命である。商品(ハード)にプラスして、知恵(ソフト)を提供することが非常に重要になってきた。ソフトをより多く提供できる企業にならなければいけない。ハードを単に右から左へと販売するだけでは将来的に発展は望めない。商品知識や技術力等、更にグローバルな視点を入れてユーザーに提案できるように勉強しなければならない。しかし、これは簡単ではないが、将来の成長には極めて重要である。

メーカーの期待に応える為には、量的にも販売を増やすことは基本であり、汗をかいて行動し1社でも多く訪問することが実績につながる。行動していく中で更により新しい知恵が湧いてくる。ハード プラス ソフト、即ち提案型営業ができるように大いに勉強して知恵を出し、行動力を強化して汗をかかなければいけない。今まで以上に情報、知識の提供、独自の機能等その質と量を一層充実向上させ、企業の発展に向かって頑張ろう。

○ 希望と情熱を持って、行動力を強化せよ

消極的で意欲が乏しい暗い雰囲気では業績がジリ貧となる。お金は陽気なところが好きで、明るい人や景気の良い所に集まるが、陰気で暗い所からは逃げていく。高い目標を立て、意欲を高く持ち、強力な行動力を発揮しなければ企業の業績は伸びない。言い訳や愚痴で暗くなるよりも、希望を持って明るく振る舞うようになろう。目標に向かって明るい希望と強い意欲を持てば、仕事に活気が出て来る。やらされていると思えば、愚痴も

出るし消極的になる。好きこそものの上手なれ。一生懸命努力すれば上達も早い。全力を出せば共感を呼び、多くの人から協力を得られる良循環となる。立派な計画を立案しても行動が伴わなければ、見せかけの計画になって達成はできない。情熱なき者は去れと言われている。常に明るく希望を持ち、積極的な行動で前進しよう。福の神も集まってくる。

○ 率先垂範

上に立つ人の心がけとして、自ら率先垂範することが大切である。上司が上から見下ろす態度で指示だけを出していれば、受ける部下は表面的に従っても、内心で反抗する「面従腹背」が起きかねない。指示は部下が理解し、納得できるような形で出さなくてはいけない。更に率先垂範して行動で示すことも必要である。我々の仕事は、人と人との良い関係の上に成り立っているので、上司がやみくもに一方的な命令を出すだけでは、良い方向に進まない。率先垂範で示し、自分がやらなければだめだという自覚を部下が持つような指導をしなければならない。口先だけの言いつばではなく、自らが行動で示すことによって、部下に信頼され、やる気を出してくれる。指示するだけで、全てが思い通りに進めば楽なものである。

情報機器が発達した現代でも、フェイス ツーフフェイスの話し合いは大切であり、心の底から理解し合わなければ強い行動力は生まれない。飲みニケーションが今でも必要だと言われている所以である。通達しているだけでは、仕事をしていることにはならない。人の心を動かせるように常に心掛けよう。

マルカの動き

7月

動き

7月 3日：第2四半期決算発表

7月 15日：第2四半期決算説明会(於:東京)

表彰

◆ 殊 勲 賞

大阪産業機械第二部 次長 河村 浩和

「鈴蘭山荘」は天然クーラーの季節

ゆっくりと温泉に入りませんか

岐阜県高山市朝日町の鈴蘭高原にあるマルカキカイ「鈴蘭山荘」は、マルカキカイグループの福利厚生施設として、1991年に建設されて今年の秋には25年目を迎えます。

鈴蘭高原は、御岳、乗鞍、穂高をはじめ北アルプス連峰が一望に見渡せる最高のリゾート地で、海拔1300m、白樺から松林の間に飛び交う野鳥の種類も豊富です。大自然のおりなす見事な景観には、四季折々の趣きがあり、自然の恵みの中で、ゴルフ、テニスなどレジャーライフを十二分に楽しむことができます。

建物は、鉄筋コンクリート木造亜鉛メッキ鋼板葺3階建て、床面積は300㎡、客室は5部屋あります。山荘の一番人気は、お風呂です。



天然温泉が引き込まれており、大きな窓から溢れんばかりの緑を眺めながら、大きな浴槽で好きな時、好きなだけ温泉を楽しんでいただけます。これからは、鈴蘭高原ならではの爽やかな天然クーラーの中、深緑のパノラマビューとイオンシャワーを満喫していただけます。



アジア NOW 2015年 8月

		タイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン	台湾	広州	備考
GDP成長率 (%)	2014年	2.0%	5.1%	4.6%	6.4%	3.4%	7.4%	推定値
	2015年	4.5%	5.2%	6.2%	6.7%	3.5%	6.5%	予測値
物価上昇率 (%)	2014年	2.1%	6.0%	3.5%	4.8%	1.4%	1.1%	推定値
	2015年	2.4%	5.0%	3.5%	4.9%	0.9%	2.4%	予測値
為替相場 (対米ドル)	15/5/10	B33.68	Rp13,097	M\$3.60	P44.61	NT\$30.07	RMB6.110	1\$=120.51円
	15/6/10	B33.69	Rp13,229	M\$3.70	P44.99	NT\$31.27	RMB6.210	1\$=124.47円
	15/7/10	B33.93	Rp13,331	M\$3.70	P45.21	NT\$31.22	RMB6.115	1\$=121.66円
	今後の傾向	↗	↘	→	→	→	↗	
短期金利		1.50%	7.50%	6.25%	4.00%	4.13%	4.85%	
	今後の傾向	→	→	→	→	→	→	
失業率		0.85%	6.10%	3.10%	6.20%	3.63%	4.50%	

マルカ駐在員からのコメント

タイ国内の5月の新車販売台数は、前年同月比18.3%減の5万6,942台だった。タイ国トヨタ自動車(TMT)が各社のデータをまとめて26日発表した。TMTのウティコン副社長は、家計債務が膨らみ、金融機関がローン審査を厳格化していることや、農家収入の減少で消費者の購買力が低下していることなどが新車販売に影響したと分析。

5月の販売台数をメーカー別にみると、日系10社のうち5社がマイナス成長だった。首位のトヨタ自動車は前年同月比29.8%減、2位のいすゞ自動車は20.4%減、3位のホンダは2.7%増と、年初からのプラス成長を維持した。

アジア開発銀行(ADB)は、インドネシアの2015年の経済成長率見通しを5.5%から5.0%に引き下げた。政府の予算執行の遅れや税収の伸び悩みに伴い政府支出が想定を下回ったことが主因であると示した。

15年の成長率をめぐっては、国際通貨基金(IMF)と世界銀行が6月にいずれも4.7%に下方修正。政府も国会審議で従来目標の5.7%から5.2%にとどまるとの見通しを明らかにしており、今回ADBも見通しを引き下げたことで、インドネシア経済が減速傾向にあることが国際機関や政府間で共通認識となりつつある。

日本政府観光局(JITO)が発表した上半期の訪日者数統計によると、マレーシアからの訪日者数は前年同月比8.6%増の1万8,500人となり、単月として過去最高を記録した。

JNTOによると、マレーシアでは、4月より物品・サービス税(GST)が導入されたことやインギンが消費意欲に歯止めをかけており、マレーシア発のアウトバウンドが対前年度割れする中でも、訪日は対前年度比増となっている。また、堅調な国内経済を反映し、企業の報酬旅行が多く開催された。

一方、上半期の訪日外客数は前年比46%増加し、過去最高記録を更新した。

フィリピン自動車工業会の統計を合計した2015年上半期の新車販売台数は前年同期比17.1%増の14万8,569台だった。メーカー別でみると首位はトヨタ・モーター・フィリピンズで前年同期比19%増の5万7,717台だった。また同社の今年の販売目標は11万台となっている。2位の三菱モーター・フィリピンズは同0.5%増の2万5,198台となり、伸びは全体を下回った。3位の現代自動車は8.3%減1万689台となり、前年同期比を下回る結果となった。

車種別では特に乗用車が9.9%減の7,111台と落ち込み、商用車は4.7%減の3,578台だった。

台湾の与党・国民党は19日、台北市内で党大会を開き、2016年1月に実施する総統選挙の公認候補に洪秀柱立法院副院長(国会副議長、67)を指名した。最大野党民進党の公認候補、蔡英文主席(58)との史上初の女性対決が決まった。

台湾の総統任期は最大で2期8年。来年1月16日に予定される次期総統選は08年に就任した馬英九総統の後任を選ぶ。二大政党の候補がいずれも女性となり、台湾初の女性総統の誕生が濃厚だ。

台湾では経済面などで影響力を増す中国への警戒感が強まる。

上海A株の急激な下落で、日本では「中国バブルの崩壊!」の報道が見られた。中国政府による株式の買い支えと、下落幅の大きい銘柄は取引を停止させるという荒業で金融パニックを回避したのは、市場主義経済の原則からは外れるものの、見事と感服せざるを得ない。

しかし、目先の株価はなんとか安定させたものの、今まで好調だった欧米自動車メーカーの販売台数の減少、鉄の価格が下落傾向にあり、経済成長の減速感否めない。

だが、普通定期預金の銀行金利が2.4%以上あるのは日本人からすると羨ましい限りだ。(N)

2015年11月期 第2四半期 決算説明会開催



2015年7月15日(木)午後1時30分より、東京都中央区日本橋の日本投資環境研究所9階ホールにおいて、当社2015年11月期第2四半期決算説明会を開催いたしました。

当日は梅雨明け間近の大変蒸し暑い中、50名近くの機関投資家、アナリストの方々にご出席いただき、竹下社長から当第2四半期決算の概要と、2015年11月期の営業戦略と業績予想について、約1時間にわたり説明をいたしました。また、今年初めに実施した自己株式の取得と、配当政策についても説明をいたしました。

当第2四半期決算は、売上高は前年同期比9.2%の増加、経常利益は為替差益の影響もあり前年同期比19%の増加となりました。産業機械部門では、当社の主力ユーザーである自動車業界向けを中心に底堅く推移し、地域別には米州、マレーシア向けが増加しました。建設機械部門では中古建設機械の取り扱いが増加しましたが、利益率の低い一部大口案件や人員増加により営業利益は前年同期比減少となりました。

2015年11月期における営業戦略の進捗状況について、北米における工作機械販売テリトリーの拡大の取組み、新商品取り扱いの実績と今後の展開、メキシコにおける2番目の新営業拠点設置計画等について説明いたしました。通期の業績予想は、中国経済の減速、東南アジアにおける景気の足踏み状態の継続等、予断を許しませんが、日本、米州で業績をけん引し、下期計画を達成したいと考えており、当初の計画を変更せず、売上高540億円、経常利益27億円、当期利益17億円としております。

最後に、配当政策について、2015年11月期の配当予想は、中間配当が1株につき13円、期末配当は14円でありましたが、第2四半期の業績進捗を考慮し、中間配当を2円増配し15円に、期末配当を1円増配し15円に、年間配当を昨年実績26円から4円増配し30円とする予定であることを説明いたしました。

今後も株主、投資家の皆様に、当社の企業情報を積極的に提供する活動を継続してまいります。

海外赴任 私の決意



マルカ・アメリカ社
管理副本部長

嶋林 直人

このたびMARUKA U.S.A. INC.(MU)に赴任しました嶋林です。

私はこれまで3度の米国滞在(学生 1度、業務 2度)を経験しています。海外滞在というのは、いつでも緊張感を伴うものですが、この4度目はマルカカイの一員として初めての赴任であり、これまで以上に気が張っています。ただ、この歳になって新しいチャレンジの機会を与えていただいていることへの感謝と楽しみも強く、とても良い感じの緊張と思っています。

MUでは、Gary D. Lowery社長が統括するMU全体を、しっかりサポートする職責を担わせていただきます。日本から駐在として派出されている邦人従業員よりもローカル社員の方が多く、そういう人たちを、ポッと来た日本人が管理・統括(私の場合は社長補佐ではありますが)することはなかなか容易ではないと思います。私自身、直近(約5~6年前)の米国勤務では、自分の所属する会社の内外を問わず、日本人より米国人とより多く日常的に接するという業務環境に身を置いていました。当然、言葉や考え方の違いもあり、当初は本当に難しく、苦しい日々でした。けれども、ちょっと良い格好の表現を許していただくなら、必死に誠意を持って接することで米国人たちにも理解してもらえる率が上昇し、何とか職務を順調に遂行できるようになって行ったのです。今回のMU勤務がそれと全く同じか

どうかは、まだわかりません。しかし、この経験は必ずや活かせるものと信じます。

一方、私は親会社・マルカカイから派出されている社員という立場にも居ます。MUの社員としてMUの意思をきちんと親会社に届けることはもちろん、日本語で発信されることも多いであろう親会社の意思を、きちんと米国人社員たちに伝達するという重責をも担っていると自覚しています。MUという、何十年にも亘って先輩諸氏がマルカ・グループの中でも重要な位置を占めるまでに育て上げて来られた組織をさらに強いものにして行くため、日米双方間のコミュニケーションを、より透明度の高いものにしてゆくことこそが私が担うべき役割と考えます。さらには、口幅ったいことを言うようですが、日米間のみならず、世界各地に展開するマルカ・ファミリーにより好い影響を与えるような情報発信を多く実行し、マルカグループ全体のさらなる発展に貢献できれば、私にとって無上の喜びです。また、そんな流れの中から、「自分もMUで働いてみたいな」と思ってくれるマルカマン・マルカウーマンが一人でも多く生まれたなら、それが日本人であろうと日本人以外であろうと、これほど嬉しいことはないと思います。

いろいろと申し上げましたが、やはり、仕事面以外でも久しぶりの米国生活を楽しませていただきたいと思います。肉ばかり食べ過ぎて太り過ぎないように注意しますが…。

そして、赴任までずっとお世話になり続けたGSの皆さんはもちろん、社内各部署の皆さん、お取引先の皆さま方への感謝を決して忘れず、時差や距離を超えて精進します。これからもMU共々、どうぞよろしく願います。

ミャンマーで(株)諸岡製不整地運搬車の 代理店契約を締結

建設機械本部



MK社様にて
写真右端より(株)諸岡 小野課長、諸岡常務取締役、MK社 Aung Kyaw Oo社長
弊社 砂河建設機械本部長、左端MK社 Chit Htay GM



MK社での諸岡製品トレーニング



MK社 諸岡製 MST-800VDデモンストレーション

当社は、不整地運搬車(キャリアードンプ)の調達・輸出販売に向けて、ミャンマーのヤンゴンに本社を置くMYANMAR KAIDO社様、(株)諸岡様との三社間で7月に代理店契約を締結しました。

ミャンマーは2011年3月30日にテイン・セイン大統領が新政府樹立、国づくりの為インフラ整備策を打ち出しています。同国は、雨期にはぬかるみの中での作業を強いられる一方で、建設土木工事に不可欠な動力化、機械化が急務の課題となっているため、不整地運搬車など用途に合わせた応用

型製品開発を得意とするモロオカ製品は、活躍の場は無限です。

一方、MYANMAR KAIDO社様はコベルコ建機の油圧ショベルの代理店でもあり、各県に1社サービス拠点を構え販売並びにサービス対応を大切にしている会社です。マルカキカイはこれからもユーザーとメーカーの両立場の目線を通じて、市場に求められる商品の展開に貢献し、堅実にパートナーづくりを目指してゆきます。

お問い合わせは、建機輸出部へ。

TEL.072(621)3373

取扱商品

MOROOKA CARRIER

キャリアダンプ
不整地運搬車



お問い合わせは

マルカキカイ株式会社

建機輸出部へ

〒567-8520 大阪府茨木市五日市緑町2番28号
TEL:072(621)3373 FAX:072(622)0580 <http://www.maruka.co.jp>